

学生各位

新型インフルエンザの発症が懸念されております。従来の鳥類の間で流行しているインフルエンザに加え、メキシコを中心とした豚のインフルエンザが世界的に拡散するおそれのある事態となっています。本学では、これらの新型インフルエンザの発生前及び発生時の注意事項につきまして、次のような指針を作成いたしましたので、お知らせいたします。これを参考に自身の健康管理に努めてください。

新型インフルエンザについて

世界保健機構（WHO）は、4月27日付で、新型インフルエンザの警戒レベルをフェーズ3からフェーズ4に変更しました。これはメキシコでの豚インフルエンザのヒトでの世界的な感染の広がりを受けてのことで、世界的な大流行、すなわちパンデミックの生じる可能性があり、世界各国がその予防に向けて十分な対応をとる必要性を示すものです。これまでヒトの間で流行していたインフルエンザウイルスにはA型とB型とがあり、このうちA型が毎年冬季に流行するものでした。A型にはさらにソ連型（H1N1）と香港型（H3N2）の2種類があり、このうちソ連型はインフルエンザ治療薬であるタミフルに耐性株が多くみられるとしてこの冬話題になりました。この2種類のA型ウイルスの流行は長く続いており、過去の例を見てもそろそろ新型のウイルスが登場するのではと懸念されてきました。その第一の候補は東南アジアなどで鳥の間で流行しているH5N1型の鳥インフルエンザウイルスで、感染力も強くまれにヒトにも感染することがあり、タミフルなどの抗ウイルス薬も効かないのでさらに変異して人に効率よく感染するヒト型インフルエンザになるのではと警戒されてきました。ところが今回、思いがけず豚のインフルエンザがヒトに感染し、ヒトからヒトにも感染が広がっていくヒトの新型インフルエンザと認定されたのです。このH1N1ウイルスは現在流行しているソ連型とは同じH1N1型でもタイプが異なるものです。従って今まで私たちが使用してきたワクチンの効果はないものと考えておく必要があります。ただ幸い、この新型インフルエンザH1N1は鳥型のH5N1と異なり、タミフルなどが有効であり、早期に診断し治療すれば命にかかわるようなことは少ないと考えられています。しかし、私たちが今までに経験したことのないタイプのウイルスですから、ヒトからヒトへの感染は起こりやすいと考えておかなければなりません。国や東京都は新型インフルエンザに向けて様々な対策をすでに講じており、むやみに心配するような重大な事態にはならないと思いますが、個人レベルでも予防対策を講じておくことが大切です。以下にはそれらをまとめて示しましたので、昭和大学の学生のみなさんも十分な注意をしてくださるようお願いいたします。

新型インフルエンザ国内発生前の注意点

まず、自らの健康管理を十分にしてください。規則正しい生活を心がけ睡眠不足や過労はできるだけ避けてください。また、冬季になれば通常のインフルエンザの流行も生じます。それらにかからないように注意することも大切です。いかに予防の要点を示します。

- ・ ワクチン接種の時期になれば積極的に接種を受ける。
 - ・ 感染症が流行している時期には不必要な外出は避ける。特に人混みや繁華街は注意。
 - ・ 外出する場合はマスクを着用する。
 - ・ 外出後はうがいや手洗いを励行する。
-
- ・ 健康管理を心がける。バランスの良い食事、規則正しい生活、十分な睡眠を心がけ、過度の飲酒や過労は避ける。
 - ・ 発熱、倦怠感、関節痛、下痢などの感染症状があれば早めに医師に相談する。
 - ・ 新型インフルエンザ流行地域への旅行は避ける。
 - ・ ある程度の食糧、飲料水、マスク・消毒薬などを備蓄しておく。
 - ・ 国や都、あるいは大学の発信するインフルエンザ関連情報はこまめにチェックする。

新型インフルエンザ国内発生時の注意点

国内での新型インフルエンザ発生時には、大学はその状況に応じて全学部が休講になる可能性があります。そのお知らせはホームページ上で行います。その際は自宅待機するようにしてください。また、国や都からの情報にも注意してください。国内発生時の注意事項は上記に加えて以下のような点です。

- ・ 集会などヒトの集まる行動は禁止されます。
- ・ 帰省も含めて旅行や移動も規制される可能性があります。そうでなくても混雑や混乱が予想されます。あらかじめご家族などで対応を相談しておいてください。
- ・ インフルエンザが疑われる症状が出た場合、各自治体が指定する保健所の相談センター（品川区；03 5742 9153、大田区；03 5744 1263）に連絡し、その指示に従ってください。
- ・ もし新型インフルエンザにかかったと診断された場合は、必ず大学にご連絡くださるようお願いいたします。

以上の注意点をかならず遵守してください。なお、新型インフルエンザに関する情報は以下の行政機関や研究所のホームページなどで入手できます。また昭和大学のホームペー

ジなどでも逐次情報を掲載しますので、ご確認をお願いします。

- 文部科学省 文部科学省における新型インフルエンザ対策について
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/11/05112500.htm
- 厚生労働省 新型インフルエンザ対策ガイドライン（フェーズ4以降）
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/>
- 国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
- 外務省海外安全ホームページ・感染症情報
<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>
- 世界保健機関（WHO）高病原性鳥インフルエンザ関連情報
<http://www.who.or.jp/alertj.html>

【昭和大学関連部署】

- 昭和大学保健管理センター（03-3784-8071）
- 旗の台キャンパス：医学部・歯学部・薬学部
昭和大学教務部（03-3784-8022）
昭和大学学生部（03-3784-8024）
- 横浜キャンパス：保健医療学部
昭和大学保健医療学部教務課（045-985-6500）
- 富士吉田キャンパス：富士吉田教育部
昭和大学富士吉田校舎教務課（0555-22-4403）
- 看護専門学校
昭和大学医学部附属看護専門学校事務室（03-3784-8097）
- 診療放射線専門学校
昭和大学診療放射線学校事務室（045-949-7340）
- 昭和大学ホームページ（<http://www.showa-u.ac.jp/>）

昭和大学長 細山田 明義

平成21年4月27日